

目 次

日 程	1
全 体 会	
(1) 開会行事	3
(2) 研究報告	4
講 評	5
講 演	6
閉会行事	8
取組構想	9
研究概要	10
取組の実際	13
研究経過	19
取組の検証	22
成果と課題	24

江田島市立江田島中学校区 研究発表会

【 研究主題 】

自他ともに大切にする児童生徒の育成
～小中9年間を見通した道徳科の授業づくりと評価を通して～

日 程

12:30	13:00	13:35	13:45	14:30(小)	14:35(中)	14:45	15:05	16:25	16:30
受付	開会行事 研究報告	移動	公開授業		移動	講評	講演会	閉会 行事	

開会行事・研究発表

(1) 開会行事 13:00～13:15

(2) 研究報告 13:15～13:35

江田島市立江田島中学校 道徳教育推進リーダー 川中 健太



公開授業（道徳科）（小） 13：45～14：30 （中） 13：45～14：35

学校名・学年	主題名・教材名等	授業者	会場
江田島小学校 第2学年	だれにでもやさしく 【B-6 親切, 思いやり】 「ぐみの木と小鳥」	杉井 友子	多目的教室 (2階)
切串小学校 第5学年	広い心 【B-11 相互理解, 寛容】 「折れたタワー」	T1:埴本 美紀 T2:川中 健太	2年2組教室 (2階)
江田島中学校 第1学年	誠実な生き方 【A-1 自主, 自律, 自由と責任】 「裏庭でのできごと」	T1:市川 千晶 T2:岡林 ダニエル	1年1組教室 (3階)
江田島中学校 第2学年	人の思いやりへの感謝 【B-6 思いやり, 感謝】 「夜のくだもの屋」	T1:山本 拓美 T2:川本 優	1年2組教室 (3階)

講 評 14：45～15：05

広島県教育委員会 義務教育指導課 指導主事 大橋 美代子 様

講 演 15：05～16：25

講師 広島大学大学院教育学研究科 教授 宮里 智恵 先生

演題 「9年間を見通した系統的な道徳授業の作り方」

閉会行事 16：25～16：30

全体会

(1) 開会行事 13:00~13:15

主催者あいさつ

江田島市教育委員会 教育長 小野藤 訓

来賓祝辞

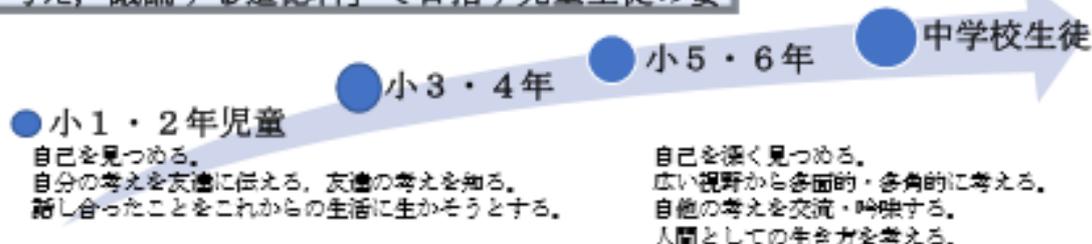
広島県西部教育事務所 所長 寺川 和己 様

取組構想

【研究主題】

自他ともに大切にする児童生徒の育成
～小中9年間を見通した道徳科の
授業づくりと評価を通して～

「考え、議論する道徳科」で目指す児童生徒の姿



＜研究仮説＞

発達段階を踏まえ、小・中学校の系統的な「考え、議論する」道徳科授業の展開を工夫すれば、共感する力や思いやりの心、協力し合う態度が育ち、自己の生き方や人間としての生き方について考えを深めさせることができるであろう。

I 指導目標

発達段階を踏まえた系統的な目標の明確化
A：自分自身のこと
B：人との関わり

II 授業の全体構成

授業づくり（導入－展開－終末）の視点
・自己を見つめる
・多面的・多角的に考える
・自己の生活や生き方を深く考える

小・中学校9年間を見通した取組

IV 評価

- ①自分とのかかわりの中で深めているか
ア：登場人物を自分に置き換えての理解
イ：自らの振り返りと見直し
ウ：議論を通しての道徳的価値の一層の理解
- ②多面的・多角的な見方へと発展しているか
エ：判断根拠や心情の様々な視点での捉え
オ：立場や考え方、感じ方の違いの理解
カ：葛藤場面の多面的・多角的な思考・判断

III 授業展開

- ①授業展開の工夫
・考える－議論する－深める
- ②「考え、議論する」ための発問の工夫
・つながり～比較、分類、関連付け
・広げる～視点の変化、推論、適用
・深める～選択・判断、吟味、解析
- ③道徳ノートを活用
・主体的に「考え、議論する」学びの習得
・コミュニケーションツール